



## (財)加藤科学振興会

| 事業科目            | 時期・場所                                  | 事業の概要  | 事業決算額           |
|-----------------|--|--|-----------------|
| 1.(ロ)つづき        |  | iii) 東京工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻<br>准教授 武田博明氏 150万円<br>テーマ: レアアースフリー非鉛高温感温半導体セラミックスの開発<br>iv) 東京工業大学大学院総研<br>教授 吉本護氏 150万円<br>テーマ: 雲母鉱物を主体とした単結晶性層状ケイ酸塩系薄膜の新合成プロセスの開発と新奇熱電変換材料の創製<br>v) 近畿大学理工学部理学科化学コース<br>助教 松本浩一氏 150万円<br>テーマ: 電極還元法を基盤にした機能性材料の新規修飾法の開発とその電気化学特性<br>vi) 山口大学大学院理工学研究科(工学部応用化学科)<br>准教授 岡本浩明氏 150万円<br>テーマ: 非プロトン性有機ゲル剤の開発とイオン液体ゲル電解質への応用<br>vii) 山形大学大学院理工学研究科<br>助教 沖本治哉氏 150万円<br>テーマ: 電気化学反応によるグラフェンの大量合成と印刷技術による導電膜の形成<br>viii) 東北大学大学院工学研究科<br>助教 小林慎一郎氏 150万円<br>テーマ: 半導体表面近傍での移動度の評価法の確立と新規手法による界面の作製と評価 |                 |
|                 | H23.6.17<br>交付式<br>於:銀座ブロッサム           | (贈呈式) 上記研究助成金交付者に、夫々研究助成決定通知書の交付ならびに贈呈証の贈呈。<br>(交付) 各大学当局の納入手続きを経て、新規助成者8名に総額 1,200万円の研究助成金を交付。  | (一般会計)<br>2,367 |
| (ハ)科学に関する研究集会助成 | 年間を通じ公募                                | (募集) 当年度開催の科学に関する研究集会を助成するため、下記を対象とし、学協会誌上にて公募。<br>申込ならびに受付は年間随時。<br>15～30万円で総額 60万円/年。<br>1) テーマが電気化学、機能材料の基礎と応用に関するもの<br>2) 外国人を含む小規模国際研究集会(セミナーおよびワークショップ)で、あるテーマについて研究発表討論する集会<br>3) 複数の非営利的研究機関に属する研究者を主体とするグループが主催するもの<br>(公募結果) 応募数が3件で申請総額 65万円。   |                 |
|                 | H22.4.15<br>学術委員会<br>於:TDK(株)<br>大手町分室 | (審査) 学術委員会ならびに理事会において、応募3件につき、夫々内容を審査し、助成総額を65万円と決定した。ただし、第19回非線形音響研究会は東日本大震災の影響により開催を24年度に変更のため当年度は予算を見送り、24年改めて交付することにした。<br>(交付) 次の各研究集会開催に交付<br>① 研究集会名 第7回配位化合物の光化学夏の学校 15万円<br>開催日 平成23年8月3日～8月4日(1泊2日)<br>オーガナイザー 東北大学多元物質科学研究所 教授 山内清吾氏<br>参加者 海外 0名、国内36名、講師4名<br>内容プログラム 大学院生が、「配位化合物の光化学、光物理」に関する研究分野の基礎から最先端研究の勉強並びに講師となる若手研究者の育成を目的   | (同上)<br>350     |

## (財)加藤科学振興会

| 事業科目                                     | 時期・場所                                       | 事業の概要   | 事業決算額 |
|--|---|---|-------|
| (ハ)つづき                                   |   | <p>② 研究集会名 第19回非線型音響国際シンポジウム 30万円<br/>開催日 平成23年8月1日～8月4日(3泊4日)<br/>オーガナイザー 大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 杉本信正氏<br/>参加者 海外20名、国内50名、講師160名<br/>内容プログラム 環境・エネルギー分野の将来像について議論</p> <p>③ 研究集会名 第59回マテリアルズ・テラーリング研究会 20万円<br/>開催日 平成23年7月28日～7月30日(2泊3日)<br/>オーガナイザー 早稲田大学ナノ理工学研究センター 教授 福中康博氏<br/>参加者 海外6名、国内22名、講師16名<br/>内容プログラム プラズマや電解プロセス、電子イオンやラジカルが関与する非平衡プロセスによる新材料創製(マテリアルテラーリング)のさらなる発展を目的</p> |       |
| (ニ)科学に関する教育助成                            | H24.2.9                                     | 刈谷市教育委員会の要請に応え、市内の小中学校児童・生徒、科学教育振興の一助として研究奨励金を交付。   | 1,000 |
| 2.加藤與五郎記念事業<br>(イ)科学に関する顕著な研究業績に対する褒賞の贈呈 | H23.7.19<br>学術委員会並びに選考委員会<br>於:TDK(株) 大手町分室 | (推薦) 学術委員会ならびに本年度第1回加藤記念賞選考委員会を開催し、当年度加藤記念賞授与方針に基づき、(社)電気化学会からの推薦者1名を含む推薦者5名全員を一次候補者とし、次回選考会までに夫々の業績調査を行った上で最終選考することを決定した。  | 1,492 |
|  | H23.8.29<br>第2回選考委員会<br>於:TDK(株) 大手町分室      | (受賞者選考)<br>選考委員会(学識経験者)を開催し、前回の学術委員会で選考推挙した5名中下記の2名を業績上から最終候補者として、理事長へ答申。<br>① 東京工業大学 教授 淵上寿雄氏<br>② 日立金属株式会社 主管研究員 吉沢克仁氏  |       |
|  | H23.9.17<br>理事会<br>書面評決                     | (受賞者選考)<br>選考委員会より答申のあった上記2名につき、理事会の承認を得て平成23年度の受賞者を決定。   |       |
|  | H23.11.25<br>贈呈式<br>於:銀座プロッサム               | (贈呈式) 受賞者2名に対し、その業績を称え、第38回加藤記念賞として賞状ならびに、金メダルを贈呈。  |       |
| (ロ)創造的科学研究に関する記念講演の後援                    | H24.3.30                                    | 次の第28回「加藤與五郎先生記念講演会」(来年実施)の開催を後援し、協賛金を支出。尚、本年度講演会は下記の通り。<br>(社)電気化学会主催 開催日 H24.3.30(金)<br>講師 山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター 教授 渡辺政廣氏<br>演題 燃料電池の本格普及に向けて-材料研究-開発からのアプローチ<br>場所 アクトシティ浜松(浜松市中区松屋町111-1)  | 300   |